

平成 30 年度国立高等専門学校機構 IT 人材育成研修会報告

第一技術班 大瀬 寛

1. 研修会趣旨と受講理由

高専機構では、情報システム等の運営に携わる教職員の専門的知識や技術力の向上を目的とした「IT 人材育成研修会」を毎年実施しており、例年は複数のテーマから受講者が選択しているが、今回は「Cisco ネットワーク運用管理」のみであった。これは本年度始め（平成 30 年 4 月 1 日）から正式稼働を開始した高専統一ネットワークで採用されている主要機器である Cisco のインテリジェントスイッチに対応するスキルを各校に普及させる目的である。この趣旨により、校内ネットワーク管理の実務を担当する私が受講を勧められた。

2. 研修概要と日程



この研修は、株式会社富士通ラーニングメディアが高専機構から請け負ったもので、東京都品川区五反田のスタンダード会議室（民営ビル）で開催された。会場には 13 人の受講者がゆったりと着席でき、テキストの各項目説明の後に配置されたノート PC を使った端末で操作して実践する形式で進行した。講師は女性で説明は懇切丁寧であった。

研修内容は以下の表に示すとおりである。

平成 30 年度国立高等専門学校機構 IT 人材育成研修日程

9 月 19 日（水）	9 月 20 日（木）	9 月 21 日（金）
<ul style="list-style-type: none">・ネットワークの基礎・プロトコルの基礎・L2・L3 スwitchの違い・実習（管理コマンドの基礎）	<ul style="list-style-type: none">・VLAN 作成・通信の多重化・実習（VLAN 作成、通信の多重化）	<ul style="list-style-type: none">・無線 LAN・セキュリティ設定・実習（無線 LAN、セキュリティ設定）

3. 研修に参加して

1 日目はネットワーク階層モデルの説明を基にして、L2・L3 スwitchの違いとその動作の説明があり、前半は緩やかな説明で分かり易かった。後半は基本的なコマンドの説明とコマンドの実習で、日頃のコマンド短縮方法についての疑問を解決してもらえた。

2 日目は専門的な深い説明に入り、実習もだんだんコマンドが複雑になって進行が早くなったが、つまずいてもコマンドの誤り部分を教えてもらったので、なんとかついて行けた。VLAN を実際に設定する実習では特に実務で役に立つ例を学ぶことができた。

3 日目は無線 LAN の説明に始まり、無線 LAN を含めた LAN の構築とセキュリティ設定を学んだ。実習では予め設定誤りを含んだ LAN が用意されており、設定を訂正して目的の通信を可能にする課題となっていた。大変難しかったが、つまずきながらも講師のアドバイスを受けて、最後には通信を可能にすることができた。

研修は年齢とともに衰える記憶力や理解力を鍛え直すことになり、2 日目以降は自分にとってはハードなものであったが、日頃の疑問を解いたり、解決のヒントを沢山得ることができたので、大変得ることが多かった。持ち帰った資料とノートはこれからの管理に欠かせないものとなった。